

平成29年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	大和市コミュニティセンター公所会館
指定管理者	大和市コミュニティセンター公所会館管理運営委員会 会長 石田秀夫
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・センターの使用の承認に関する業務

室名	件数	使用時間	使用人数	使用料
学習室	81	169	1,006	9,400
休養室	177	581	1,727	52,700
実習室	78	239	878	17,400
集会室	461	1,365	8,085	353,200
保育室	273	572	1,824	115,600
合計	1,070	2,926	13,520	548,300

- ・センターの維持管理に関する業務

午前10時から午後5時30分までの職員の配置、建物の定期点検及び保守管理、小破修繕の実施、物品の管理等について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・地域の特色を活かした地域コミュニティの推進を図る業務（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
太極拳の体験	5/18	18名
交通安全映画会と七夕カレーパーティー（児童館共催）	7/9	155名
アクセサリー作りませんか	9/26	18名
おうちのチョコットイベントこんだて	10/22	22名
コミセンまつり	10/29	500名
スポーツ吹矢	11/14	27名
コミュニティ音楽館	11/18	55名
子どもとんじる大会（児童館共催）	2/4	141名
みんなで歌いましょう	2/25	52名

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	4,959,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の 給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	1,931,473
雑入 (預金利息等)	162,619	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施 のために支出した金額)	163,314
		研修費 (指定管理者が職員の資質向上のた めに実施した研修等費用の金額)	88,100
		管理運営費 (光熱水費や消耗品、修繕等、電話 代等、施設の維持管理のために支出 した金額)	2,938,732
収入計 (①)	5,121,619	支出計 (②)	5,121,619
収支決算	0		

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成30年3月に使用者アンケートを実施し、意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

- ・施設の使用許可事務については、条例等に則り適切に行われています。
- ・市で実施した使用者アンケートでは、スタッフの対応について、全回答者から「満足」との評価を得ており、前年度から高い評価を維持していることを評価します。
- ・使用者からの要望を受け、カラオケ機器等の音響機器を更新したほか、軽量の机を集会室に整備する等、使用者の利便性向上に努めています。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

- ・料理や手芸、スポーツをテーマとした各自主事業が、毎年異なる内容で開催されています。総務部、老人部、成人部の各部会が精力的な活動を通して地域のニーズを汲み取り、趣向を凝らした自主事業の展開に繋げていることは、大変評価できます。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・日常の清掃が適切に行われていることに加え、使用者や地域ボランティアと協力して会館清掃を行うなど、地域全体での施設維持への取り組みが見られます。
- ・階段昇降機の点検を定期的に行っています。当該点検は、2階の実習室又は休養室使用者の荷物等の上げ下げを兼ねており、使用者に設備の使用方法を周知する上でも大変効果的です。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・施設の管理運営を安定的に行う上で、十分な財務状況と判断しています。
- ・指定管理会計の収支決算は良好な状況です。また、当該年度には、前年度指定管理会計の剰余金を活用した休養室の豊替えが実施されました。使用者が気持ちよく利用できる施設維持への取り組みが見られ、指定管理会計が効果的に支出されています。